**令和３年度**

提出時には青字のコメント・例示・ガイドラインは削除してください。

**研究成果展開事業社会還元加速プログラム**

**（SCORE拠点都市環境整備型）**

**京阪神スタートアップ　アカデミア・コアリション**

**起業活動支援プログラム**

**研究開発課題申請書**

【１-a】研究代表者

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | |  | 所属 | | [例]●●大学〇〇研究科 |
| 氏　　名 | |  | 役職  (課程/学年※) | |  |
| 連絡先 | 電　話 |  | | | |
| E-mail |  | | | |
| ※代表者が大学院生の場合 | | 指導教員の氏名 | |  | |
| 指導教員の所属・職名 | | [例]●●大学〇〇研究科　教授 | |

※研究代表者が大学院生（修士課程・博士課程）の場合は、指導教官の承認を得たうえで申込のこと。審査の結果、採択された場合は別紙SCORE計画様式4「確認書」を提出いただきます。内容を事前に指導教官と確認のこと。

【１-b】事業化プロデューサー（設置する場合のみ記載）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| フリガナ |  | 所属 | [例]株式会社●●研究開発部 |
| 氏　　名 |  | 役職 |  |
| 本研究課題  における役割 |  | | |

【２】研究開発課題名

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 |  |

【３】分野（最も当てはまると考えられるものをひとつ選択してください）

|  |
| --- |
| ライフサイエンス　　　ヘルスケア　　ものづくり　　情報通信　　　アグリビジネス  人文社会系　　その他　[　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　] |

【４】概要

研究開発課題（研究開発及びビジネスモデル）の概要が分かるように、**３００文字程度**で簡潔に記述してください。

【５】起業に向けた計画

どのようなベンチャー創出（起業）を目指すのか（規模感(ユニコーン、売上げ○○円)、地域密着、等）と、その起業の予定時期を明記して下さい。

【６】技術シーズの内容

１．発明（周辺特許を含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項番 | 発明の名称 | 出願番号  ・特許番号 | 発明者  （全員記載のこと） | 出願人  （全員記載のこと） |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  | ・特許がない場合には、「なし」と記載ください。  ・特許を保有していない場合は、3.にて、今後の知的財産権戦略等を記載してください。 |  |  |
| 3 |  |  |  |  |

２．内容・特徴

技術シーズの内容および特徴について、背景、現状の問題点、競合技術に対する独創性・新規性、これまで得られた研究成果等を適宜含めつつ、図表やデータも用いて記載してください。

３．企業とのアライアンスやライセンス契約等の状況、今後の知的財産戦略

・当該技術シーズについて、既に企業と共同研究を行っている場合やライセンス契約等がある場合は、その状況について記載してください。

・将来、当該技術シーズによるベンチャーを創出しようとした場合、技術シーズの発明者、技術シーズが帰属する機関等（共願人）の同意が得られているか、その他に関連する発明が無いか、などについて記載ください。

・今後の知的財産権戦略等を記載してください（特許を保有していない場合は必ず記載してください）

【７】活動終了時点の目標

１．研究開発

項目に分けて成果目標（項目・定性・定量）を記載すること。

【見出し１】

【見出し２】

【見出し３】

・・・

２．ビジネスモデル

社会背景や市場ニーズと、研究成果を利用した実用化イメージを記載すること（マーケティング情報も含む）。

1)社会背景、市場ニーズ

2)実用化イメージ

【８】活動内容

　　１．研究開発

　　【７】の目標に対応して具体的な研究開発活動内容を記載すること

　　２．ビジネスモデル

　　ビジネスモデル実現に向けて、検討、活動する内容を記載する。調査なども含む。

【９】活動スケジュール

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施内容 | 2021 ８-9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2022 1月 | 2月 | 3月 |
| 【見出し1】 |  |  |  |  |  |  |  |
| 【見出し２】 |  |  |  |  |  |  |  |
| 【見出し３】 |  |  |  |  |  |  |  |
| 【７】【８】の項目と対応させる |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

フォーマットは自由ですので、エクセルで作成した表をコピペ（Microsoft Excelワークシートオブジェクトとして貼り付け）するなどして作成して下さい。

【１０】研究開発の体制（研究代表者、事業化プロデューサー含む）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | 所　　　属 | | | 役割、分担 |
| 機関・企業名 | 部局(部署) | 役職 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

【１１】委託研究開発費

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 予算経費  （直接経費のみ） | 提案予算額（千円） | 使途 |
| a.物品費 | 1,000 | 想定顧客アリングのための試作品部材 |
| 600 | 開発用資材（実験器具）・想定顧客提示向けの実験データ取得のため |
| 500 | 開発用部材（試薬、試料）・定顧客提示向けの実験データ取得のため |
|  |  |
|  |  |
| b.旅費 | 50 | 京都⇔東京、1回、2名、DemoDay参加 |
| 10 | 京都⇔名古屋、1回、1名、想定顧客打ち合わせ |
|  |  |
|  |  |
| c.謝金 |  |  |
|  |  |
| d.その他 | 540 | （外注費）　XX計測技術調査 |
| 800 | （外注費）　XXの競合技術調査 |
| 800 | （外注費）　XXのデータ分析 |
| 200 | 想定顧客評価用試作品、輸送費 |
| 500 | 想定顧客評価用試作品、加工費 |
|  |  |
| 合計 | 5000 |  |

（注意）

※経費のガイドラインについては「SCORE大学推進型研究者ハンドブック（2020年度）」および「委託研究事務処理説明書」を参照すること。（<https://www.jst.go.jp/start/jimu/score-u.html>）

※「使途」欄は調達する物品・役務等の名称だけでなく、その調達が顧客ヒアリング、ビジネスモデルブラッシュアップ等の事業化に向けて必要な理由が分かるよう記載すること。

※事業化を目的としない基礎研究のための経費には使用しないこと。

※外注費としては、研究開発要素を含まない内容のみが対象。

【１２】他制度での助成等の有無

研究代表者が、現在、受給している国の競争的資金制度等について、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費、エフォートを記入してください。

※受給中の全課題について記載してください。その際、SCOREで実施する内容と関連のない課題も記載してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **番号** | **受給中の制度名**  **（研究期間)** | **研究課題名**  **(代表者氏名)** | **役割**  **(代表/**  **分担)** | **2020年度の**  **本人受給研究費**  **（期間全体の研究費）** | **ｴﾌｫｰﾄ(%)** | **SCOREでの取り組みとの切り分け** |
| 例 | 科学研究費  補助金基礎研究(S)  （2017.9-2021.3） | ××による◇◇の創成  (○○○○) | 代表 | 25,000千円  （100,000千円） | 30 |  |
| 1 |  |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |  |

【１３】情報の共有について

　申請課題について、申請者が所属する大学の関連VC（ベンチャー・キャピタル）等に採択の可否に関わらず申請書の記載内容を情報共有する場合があります。承諾の可否について、下記のいずれかにチェックしてください。

　承諾する

　承諾しない